

下線は新規もしくは修正

令和2年10月2日

南砺市長 田中 幹夫 殿

南砺市地域づくり協議会連合会

会長 松本 久介



要 望 書

少子高齢化や人口減少をはじめとする様々な地域課題が山積しておりますが、誰ひとり取り残さない地域社会である「一流の田舎」の実現に向け「第2次南砺市総合計画」に挙げられた各種施策を着実に取り組むとともに「SDGs 未来都市」を推進するべく、地域も市と一体となって進めていきたいと考えております。

このような中、「まちづくり基本条例」の趣旨に則り、より良い南砺市を目指していくためには、地域づくり協議会を中心とする住民自治組織の役割が非常に大きいと考えており、今年度4月から全31地域の足並みが揃った、小規模多機能自治の手法を用いた課題解決型の住民自治組織となるよう歩みを進めております。

ついては、次の点について令和3年度予算編成、並びに市政運営に反映いただきたく格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

1. 庁舎統合後のまちづくりについて

(1) まちづくり検討会議からの提言実現に向けた進め方について

一昨年から庁舎機能再編議論を契機として始まった「まちづくり検討会議」の当初の目的は、庁舎統合による地域の賑わいの喪失や地域経済の衰退などに対する不安があるからとお聞きしていました。

平成30年12月に市長へ提言書を提出し、令和元年度から「提言実現検討組織」となり、各地域で検討が進められています。

市は各地域で検討された具体的な方策に対して早急に決定し、実現に向けて取り組むこと。 H31-022-018 まちづくり推進係

(2) 庁舎統合後の行政センターのあり方について R02-021-001 地域振興室

統合庁舎の運用開始及び組織機構改革により従来の行政センターが市民窓口に特化し、市民センターとなりましたが、中途半端な印象が拭えません。平・上平・利賀地域には地域振興室兼務職員を配置されていますが、町部においても町部特有の事柄がありますので、地域振興担当職員の常時配置について検討すること。

、新庁舎の取組

、本評知事

の呼びかけ

2. 防災対策の徹底について

災害発生時の危険度や住民が取るべき行動などについて防災計画の見直しを行うなど、防災対策に努めること。

R02-021-002 防災危機管理係 ➤ 行政センターの見直しに伴う現地対策本部の見直し方針を早急に示すこと。

R02-021-003 防災危機管理係 ➤ コロナにおける避難所運営マニュアル及び避難所収容人数を示すこと。

➤ 災害の種類ごとに避難所を特定できるようにすること。 H31-022-001 防災危機管理係

➤ 各自主防災組織と連携した具体的な図上訓練を実施すること。

H31-022-002 防災危機管理係

3. 子育て・教育環境の充実について

元気で活気ある南砺市の実現には、妊娠、出産、保育、義務教育、高等教育のどの時期においても、充実した子育て環境が求められています。地域で出産することができ、充実した子育て環境が整備されることで地域の魅力が高まり、安心して子育てができるものと考えます。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 子育てしやすい職場環境の充実 H31-022-016 子育て支援係

子ども・子育てニーズ調査では、理想とする子供は3人であるものの、実際は2人に留まっている。有効な少子化対策として「経済的負担の軽減」や

「子育てに理解のある職場環境」が望まれていることから、出産・育児のための短時間勤務の普及や父親の育児休暇取得率の向上、保育園・幼稚園の預かり保育の充実など、ワークライフバランスの実現に向けて企業への周知や連携のあり方を検討すること。

(2) 新型コロナウイルス感染症に対応した持続的な学校運営 R02-021-004 学務係

新型コロナウイルス感染が再度拡大し、学校の臨時休業が予想される中、自宅で過ごす児童に対する対面での指導による心のケアを検討するとともに、登校できない児童を対象としたオンライン指導の環境整備に努めること。

、全体的な方針

、市町村の連携

Zoom

4. 安全で安心な暮らしやすいまちづくりについて

市民が安全・安心で地域に暮らすためには、防災対策の徹底、生活基盤となる道路網の整備や公共交通の確保が重要となってきます。

また、近年の異常気象による豪雨等の対策として、洪水調整機能を有するダムの整備、流下能力を高めるための河川の浚渫、雑木・雑草の除去や改良が必要となっています。

生活基盤となる道路網の整備については、中京圏と北陸を結ぶ東海北陸自動車道が安全に通行できるよう、早期の4車線化が望まれています。

さらに、通学路の安全対策や道路整備、安全な交通を確保するための維持管理の徹底などを進めることが必要となっています。

そして、高齢者の交通手段の確保として各種バスの運行、防犯対策の強化にも事業実施を期待しております。

このことから下記の項目について積極的な対応を図りたい。

(1) 河川の維持管理 R02-021-005 公園・河川係

近年、大雨特別警報が発令され、大規模な土砂災害が発生する事例が多く見受けられることから、県等関係機関に働きかけること。

(2) 利賀ダムの整備 R02-021-006 公園・河川係

近年多発する災害から庄川流域 30 万人の生命・財産を守る利賀ダムの整備促進や、「国道471号利賀バイパス」の整備を含め、一日も早く完成するよう関係機関に働きかけること。

(3) 東海北陸自動車道の4車線化及びスマートインター周辺整備 R02-021-007 道路建設係

東海北陸自動車の城端～小矢部JCT間の付加車線整備促進及びトンネルを含めた完全4車線化の整備について、継続して関係機関に要請すること。

また、城端スマートICの開設を早期に実現するとともに、アクセス道路並びに環境整備に取り組むこと。南砺スマートICのアクセス道路である福野市街地～安居地内については、更に整備促進するよう県等関係機関に働きかけること。

(4) 市道・林道の適正な管理 R02-021-008 道路建設係

消防署再編により南砺市では2署所体制となり、安定的な消防体制と消防力強化、機動力向上を期待していますが、それに即した道路網の整備も必要と考えます。到着時間が遅くなったことに、住民は不安を感じています。住民に不安のないようアクセス道路について、現実に即した緊急ルートの整備を進めること。

今日の人口減少や空き家の増加・高齢化により、冬期間における生活道路の確保が困難となってきている。新たに消雪装置の設置を要望している地区についてはその実現に向けて努めること。 R02-021-009 道路維持係

地域の建設業は、冬期道路除雪や災害時の対応等地域の安全・安心を支える重要な役割をはたしているが、年間の仕事量の減少によりオペレーター不足が深刻となっている。このことに鑑み、待機費用の見直しなど除雪作業環境の改善を図り、引き続き除雪体制の支援を行うこと。 R02-021-010 道路維持係

国の施策として、今後、高齢者の事故防止のための機能を備えた車としてサポカー（安全運転サポート車）の普及を進めています。その際に必要となる市道のセンターラインの整備をお願いします。また、外側線・ガードレール・安全標識・デリネーターポール・街路樹の管理・水路転落防止柵等、破損状況を把握するとともに計画的な維持管理に努めること。 H30-060-004 道路維持係

主要な市道・林道や遊歩道に隣接した山林には、枯損木や支障木（いわゆるよりかかり木）が多くあり、事故の発生を防止するためにも、パトリールの徹底とともに事前除去を実施すること。 R02-021-011 道路維持係

現在地域がボランティアで行っている市道・林道の草刈りですが、人手不足や安全面などを考慮し、地域に大型草刈機を貸与するなどの検討を行うこと。 R02-021-012 道路維持係

山間過疎地域については、引き続き住民共同活動応援事業での集落作業支援や、さらには時代の変化に応じた新たな支援策を図ること。

R02-021-013 協働のまちづくり係

(5) 森林の整備 H28-058-016 林政係

エコビレッジ政策と関連し、里山の整備、管理を進め、間伐材の適正利用の促進と共に山地災害のない自然環境の保全政策を推進すること。

(6) 防犯対策の推進

高齢者の振り込め詐欺被害等が社会問題になっていることから、消費者安全確保を目的とした「消費者安全確保地域協議会」を設置すること。 H30-060-005 生活安全係

市防犯協会の事務所移転に伴う移転費用等、財政的支援を行うこと。 H31-022-005 生活安全係

(7) 鳥獣被害対策の推進 H30-060-006 林政係

イノシシ、クマ、ニホンザル、シカ、カラス、サギなど野生動物が年々頻繁に出没し、農作物への被害や人的危害を与えるなど、住民の安全な生活が脅かされている。このことから捕獲隊員の新規担い手育成、組織の持続・活動に対する市独自の助成、耐雪型の防止柵設置への助成等の

予算枠を増やすとともに、近隣地域と横連携を図るなど、全域的な取り組みとし有害鳥獣被害の総合的な対策を図ること。

H31-022-006 林政係 ➤ 豚コレラについては、その対策に万全を期すこと。

図表

5. 地域活性化の支援策について

南砺市では少子高齢化や人口減少が進んでおり、それに起因して空き家、空き店舗が増加し、地域の活力の低下に繋がっている。このような現状の中、地域ごとに課題解決に取り組む事が求められている。

このことから、下記の項目について積極的な取り組みを図られたい。

(1) 公共交通の確保及び交通体系の見直し

- R02-021-016 交通政策係 ➤ 7月に統合庁舎が開庁したことから、今まで以上に福光庁舎へ行きやすい公共交通の確保が必要です。南砺市地域公共交通網形成計画に基づく交通弱者の抜本的な解決をすること。
- H30-060-007 交通政策係 ➤ なんバスが利用しやすくなるよう、バス停の新設や運行基準の見直し等に努めること。
- R02-021-017 交通政策係 ➤ 家からバス停、交流センター、スーパー及び病院までなど高齢者の足の確保が必要なこれらの区間については公共交通のみでは対応が困難です。地域づくり協議会などで対応している先進地もあることから、地域が主体となったスマートモビリティやデマンド交通などの調査研究を行い、モデル地区での実証実験を進めること。

R02-021-018 交通政策係 (2) JR城端線のLRT化検討について

- JR城端線は、本市における公共交通ネットワークの最重要路線であり、高校生の通学利用を中心に、市民の生活の足として欠かすことができないことはもとより、市内観光地へのアクセス手段としても大きな役割を果たしている。JR西日本から提案のあったLRT化検討については十分に議論し、JR城端線を次世代へ継承していくための成果につなげていくこと。

(3) JR西日本の城端駅、福光駅、福野駅無人化方針への対応について

- R02-021-019 交通政策係 ➤ JRの市内3駅無人化については、JR利用者の利便性を大きく損なうものであり、一層のJR城端線利用者減につながる事となる。無人化方針の出された市内3駅については、券売機を設置するなど、今後とも乗車券や定期券等の販売を行うこととするよう、JR西日本に働きかけ

ること。

(4) 空き家の有効活用と危険空き家除却への支援 H31-022-010 定住・空き家対策係

市内には平成29年時点で1035棟の空き家があるとされているが、高齢化等に伴い今後も増加の傾向にあると思われる。

更なる空き家の発生を抑制するため、地域における空き家の利活用の促進や、空き家等地域対策推進員を中心とした相談体制の充実等を図り、空き家を未然に防ぐ地域づくりに取り組むこと。

また、管理不全空き家や老朽危険空き家についての対策に努めること。

(5) 小規模多機能自治の推進への支援

- 地域で行った方が効率の良い事業については、地域に積極的に提案すること。H31-022-011 協働のまちづくり係
- 小規模多機能自治の形に合った法人格創設に向けて関係機関に働きかけること。H31-022-012 協働のまちづくり係
- 社会保険料の事業主負担を予算化すること。H31-022-013 協働のまちづくり係
- 市は各地域づくり協議会に対して、(一社)なんと未来支援センターとともに継続した支援を行うこと。R02-021-020 協働のまちづくり係

6. 地域での支え合い体制、地域包括的活動の活性化

地域で暮らし続けるためには、生まれたときから人生の幕を閉じるときまで、地域内での支え合いが大切です。地域内での支え合える体制を進めるにあたり、地域全体での包括的な活動の活性化が重要となっております。

このことから下記の項目について積極的な対応を図られたい。

R02-021-021 長寿介護係

- 今後の高齢者や子育て支援など、地域内で支え合える体制の充実について、地域づくり協議会としてもその役割をどこまで担えるか検討していますが、高齢者の通所型サービスBや週一サロンの開設など、住民主体による要支援者を含めた自主的な通いの場づくりを市としても各地域に広めていくと共に、現在活動している団体へのサポートを行うこと。
- 通所型サービスBを開設する上で必要な、南砺市介護予防・日常生活支援活動拠点施設改修及び備品等整備事業費補助金について継続いただき、31地区における事業導入に向けての支援を行うこと。H31-060-011 長寿介護係